



利根中央病院だより

第48号
2018年 夏号

きらめき



発行責任者 利根中央病院 院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

消化器内科の診療体制について



消化器内科医長 山田 俊哉

消化器内科は消化管（食道・胃・十二指腸・小腸・大腸）・肝臓・胆嚢・胆管・膵臓の多岐にわたる領域を扱い、対象となる疾患・患者数も非常に多い分野です。

その診断・治療には消化器内視鏡が重要となってきますが、新病院となり、内視鏡室も一新され、検査台数も増え、内視鏡数も年々増加しており、昨年度は胃カメラ4420件・大腸カメラ1501件と県内でも有数の件数を行ってきました。治療として内視鏡を用いたポリープ切除や緊急時の消化管出血の止血・異物除去なども行っております。

最新の高画質の内視鏡装置も導入されており、胃や大腸の病変を拡大倍率で観察できる拡大内視鏡や、苦痛の少ない経鼻内視鏡、今年度からは大腸内視鏡時のお腹の張りなどの苦痛を軽減するCO²送気装置も導入されました。

昨年度は中断していた胆道・膵臓疾患の診断・治療に欠かせないERCP（内視鏡的逆行性膵胆管造影）検査も今年度から再開しており、総胆管結石の内視鏡的除去や閉塞性黄疸に対する胆管ドレナージなど、様々な診断治療を行えるようになり、診療の幅が広がっております。



また、4月より病棟においても、消化器内科疾患に特化した病棟体制作りを行っており、スタッフが一人となり消化器内科診療に取り組んでいます。

消化器領域の病気や内視鏡検査についてなどで、分からないことやお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

レスパイト入院のご案内



地域包括ケア病棟師長 星野 晶子

当院では地域包括ケア病棟にて「レスパイト入院」の受け入れを始めました。在宅介護をされている介護者様の休息をはじめ病気や怪我、出産、旅行、冠婚葬祭など家庭の事情に応じてご利用いただけます。

点滴や胃瘻による栄養管理、人工呼吸器による呼吸の管理、褥瘡や傷の処置、痰の吸引などが必要な患者様の受け入れも可能です。

入院中は患者様の状態に合わせてお楽しみの時間が作れるよう工夫しております（写真参照）。



紙傘作り



風船バレー

※写真の掲載については患者様より同意を得ております。

お問い合わせや申し込みにつきましては、当院の総合支援センターまでお願いいたします。詳細につきましては当院のホームページをご覧ください。

ご利用の流れ

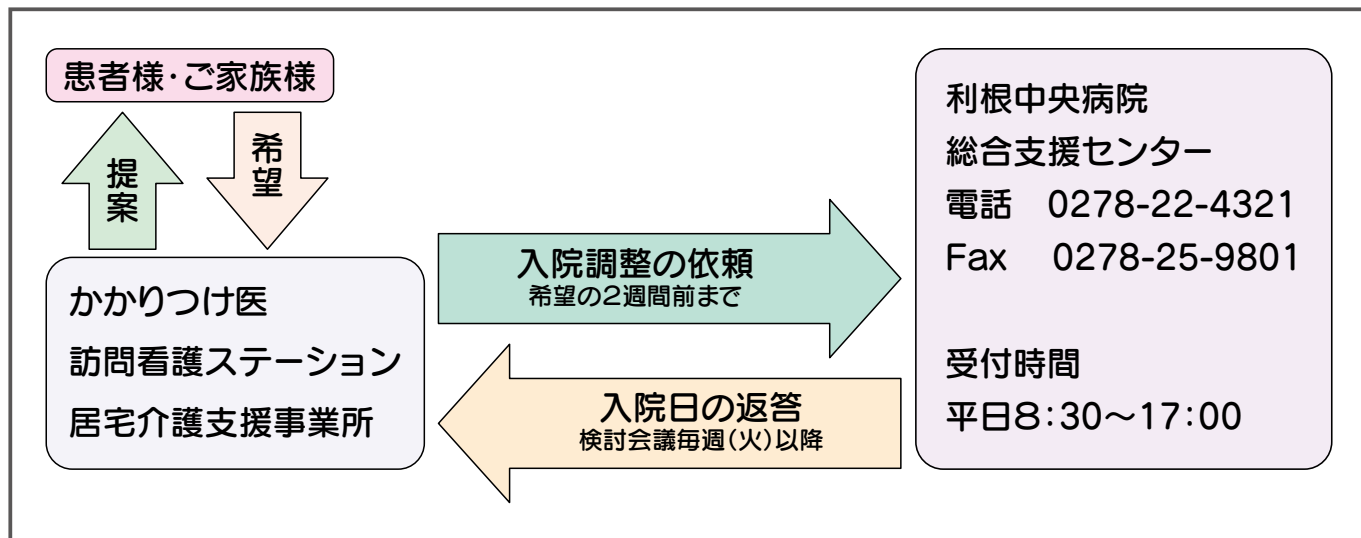
①ご利用の2週間前までに、総合支援センターにお申し込み下さい。

お申込みができるのは、かかりつけ医、訪問看護ス

テーション、居宅介護支援事業所です。

お申し込み時は、当院ホームページにリンクされている「レスパイト入院予約申込書」と「診療情報提供書」をFAXして下さい。

②毎週火曜日の入院判定会議で検討し、翌日以降にお申込者へ回答します。



医療安全管理委員会の取り組みについて



医療安全管理者 千木良 美佐子

●医療安全管理体制

医療安全管理委員会は各職種の中から院長に推薦されたメンバー 17名で構成されています。今年度より、研修医1名が加わり医療安全文化の醸成を目指して様々な取り組みをしています。

●報告はシステム化で素早く

院内で発生した有害事象は未然も含めて、全て報告することを原則に、2年前からインシデント管理システムを導入しました。

●医療安全文化の可視化

インシデントレポートの報告数だけでは測定できない安全文化を測定するために、2016年から2年続けて、医療安全文化調査を実施しました。他施設

と比較して、部署間や職種間の安全文化を数値化し可視化できました。今後は、各職種・各部署の業務改善でレベルアップすることを期待しています。

●医療安全管理委員のスキルアップ研修

医療安全管理委員としてリスク管理のスキルを高めるために事例分析や、チームSTEPPSの学習会を行いました。

●医療安全全国共同行動に参加

2017年度より医療安全全国共同行動に参加しています。共同行動が推奨する行動目標に近づくように担当部署が中心となり、現在4つの行動目標に取り組み中です。

●地域医療安全対策地域連携

2018年度から新たに、沼田病院と沼田脳外科循環器科病院の3病院で医療安全対策地域連携に取り組むことになりました。各病院の皆様、よろしくお願いします。



医療安全週間の取り組み 医療安全川柳



新入医師・看護師医療安全研修 チームの鎖



多職種合同 CVC 研修会 PICC も



「顔の見える連携を！」 医師会情報交換会を開催

6月8日に今年で8回目となる沼田利根医師会との情報交換会を開催し、21名の医師会の先生方の参加をいただきました。日頃の患者紹介等に対する意見や感謝の言葉をいただき「顔の見える情報交換」ができました。また、研修医の先生方にも温かい言葉を沢山いただき、励みとなりました。今後も良好な関係を保ちながら、当地域での医療完結を目指すための更なる連携強化が確認されました。



大塚院長挨拶



研修医自己紹介

2018年度スキルアップセミナー開催

5月19日・20日に総合診療科スキルアップセミナーを開催し、医師・研修医・医学生など36名の参加がありました。

今回は、医学生・研修医教育で著名な平島修先生、坂本壮先生にお越しいただき、平島先生には、胸部編で心音の聴取、腹部編で虫垂炎、急性膵炎の身体診察について、坂本先生には、『ER診療の心構え』と題して、救急診療において見逃しを防ぐための心構え10か条をご指導いただきました。



きらめき トピックス

地域公開講演会 「高齢者の運動器疾患」開催

5月30日、群馬大学整形外科学教室講師の飯塚陽一先生をお招きして地域公開講演会を開催しました。「高齢者の運動器疾患」というテーマで骨粗鬆症、変形性腰椎症、変形性膝関節症、変形性股関節症について、症状や治療法等をわかりやすく説明してくださいました。ロコモティブシンドロームのチェック方法や予防トレーニングもお話いただき、今後の地域での保健予防活動につながる内容となりました。



看護部新人歓迎会

看護部は今年度13名の新人を迎え、5月18日新人歓迎会をホテルベラヴィータで行いました。

おいしい食事と飲み物を囲んで和やかな雰囲気の中で談笑しながら、各部署の紹介や新人の自己紹介、ビンゴゲームなどを行い、新人・各部署のスタッフとの親睦を図ることができました。

